

第17回D A C援助効果作業部会（釜山H L F 4成果文書の議論）

平成23年7月4日  
外務省開発協力企画室

第17回D A C援助効果作業部会の主要な議題と論点は以下のとおり。

1. パリ宣言モニタリング調査・評価フェーズ2の結果と勧告

- (1) 最も主要な結果は何か。
- (2) 結果と勧告のうち、どの要素を支持するか。
- (3) 結論及び釜山へのインプット

2. 釜山H L F 4成果文書第1ドラフト

成果文書第1ドラフトの構成と論点は以下のとおり。

(1) 「国際開発協力における新たなパラダイムとパートナーシップの必要性」

論点：成果文書を承認する主体及びコミットメントを行う主体は誰か。

(2) 主たるコミットメント

- ア “オーナーシップ、成果及び説明責任”
- イ “透明性と予測性”
- ウ “紛争と脆弱性”

論点：全アクターが合意し得る具体的なコミットメントは何か。

(3) より広い開発に関するアジェンダ（民間、気候変動、三角協力、政策一貫性等）

論点：文書中の位置を政治的導入部分（iiの前）に移動すべきか。

論点：より広い開発アジェンダに関する具体的コミットメントは何か。

(4) M D G s以降を見据えた体制

論点：釜山以降の開発に関する国際的なガバナンス・モニタリング体制をどうするか。

（了）